

作成日 2022/02/10
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 食品機械用グリース
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
整理番号 M220210

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器 全身毒性)
環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分1
水生環境有害性 長期(慢性) 区分1
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H370 呼吸器、全身毒性の障害
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き
安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)
漏出物を回収すること。(P391)
保管 施錠して保管すること。(P405)
廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
流動パラフィン	70~80%	不明	不明	不明	8042-47-5
アルミニウム複合石鹼	5~10%	不明	不明	不明	不明

酸化亜鉛	5~10%	ZnO	(1)-561	既存	1314-13-2
炭酸カルシウム	5~10%	CaCO3	(1)-122	既存	471-34-1

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、体を毛布などで覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

大量の水および石鹼で洗い流す。

外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。瞼の裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合

出来るだけ早く医師の診断を受けること。

無理に吐かせないで、医師の診断を受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗うこと。

5. 火災時の措置

消火剤

使ってはならない消火剤

特有の消火方法

粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂

水を消火に用いてはならない。

可燃性のものを周囲から早く取り除く。

指定の消火剤を使用すること。

消火活動は風上より行う。

初期火災には粉末、二酸化炭素、乾燥砂等を用い
大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。

高温にさらされる密封容器は水を掛けて冷却する。

適切な保護具(耐熱性着衣)を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

作業の際は適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。

除去方法

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を速やかに取り除く。

着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ、大量の場合は盛り土で囲って流出を防止する。

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をする。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

換気の良い場所で取り扱う。

周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

取扱い場所の近くに緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を生じさせない。

取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

休憩場所には手袋等の汚染された保護具を持ち込んでではない。

		皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないよう適切な保護具を着用する。
		密閉された場所における作業には十分な局所排気装置を付け適切な保護具を着けて作業すること。
	注意事項	発散した蒸気(粉じん)を吸い込まないようにする。
	安全取扱注意事項	屋外での取り扱い、できるだけ風上から作業する。 容器を転倒させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。
保管	適切な保管条件	容器はその都度密栓する。 直射日光を避ける。 火気熱源から遠ざける。 通気のよい場所で容器を密閉し冷暗所に保管する。 防湿に留意する。
	安全な容器包装材料	長期間の保管を避ける。 特になし。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酸化亜鉛	未設定	【暫定値】0.5mg/m ³ ; 【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m ³ 総粉塵 4mg/m ³	TWA 2 mg/m ³ (R), STEL 10 mg/m ³ (R)
炭酸カルシウム	未設定	未設定	未設定
流動パラフィン	未設定	未設定	未設定

設備対策		取扱い設備は防爆型を使用する。 排気装置を付けて蒸気が滞留しないようにする。 取扱い場所の近くには高温、発火源となるものが置かれられないような設備とすること。 屋内作業の場合は、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置などにより作業者が暴露から避けられるような設備とすること。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具 適切な衛生対策	必要に応じて有機ガス用防毒マスクを着用する。 耐油性手袋 普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型 長袖作業服等 作業中は飲食、喫煙をしない。 マスク等の吸着剤の交換は、定期又は使用の都度行う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		固体
形状		固体(粘稠性)
色		白色
臭い		オイル臭
融点/凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		>200°C(セタ密閉式)
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし

動粘性率	データなし
溶解度	難水性
n-オクタノール／水分配	データなし
係数	
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	0.98(g/cm ³)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	自己反応性なし
化学的安定性	通常条件で安定
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	火気、酸化剤との接触
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	熱分解させるとCO(一酸化炭素)等が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しないとした。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
呼吸器感作性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) 区分2の成分が10%のため、区分2とした。 (生殖毒性・授乳影響)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。 区分1(呼吸器)の成分が10%のため、区分1(呼吸器)とした。

<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性</p>	<p>区分1(全身毒性)の成分が10%のため、区分1(全身毒性)とした。 データ不足のため分類できない。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。</p>																						
<p>12. 環境影響情報 水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性) 生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性</p>	<p>区分1×毒性乗率の成分合計が100%のため、区分1とした。 区分1×毒性乗率の成分合計が100%のため、区分1とした。 データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。</p>																						
<p>13. 廃棄上の注意 残余廃棄物</p>	<p>廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却装置等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託すること。 廃棄物等を焼却処理する場合は、有毒ガス発生のおそれがあるため、適切な除去装置のある焼却炉を使用すること。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。</p>																						
<p>汚染容器及び包装</p>																							
<p>14. 輸送上の注意 国際規制</p>	<table border="0"> <tr> <td>海上規制情報</td> <td>IMOの規定に従う。</td> </tr> <tr> <td>UN No.</td> <td>3077</td> </tr> <tr> <td>Proper Shipping Class</td> <td>環境有害物質(固体) 9</td> </tr> <tr> <td>Packing Group</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>Marine Pollutant</td> <td>applicable</td> </tr> <tr> <td>Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code</td> <td>Not applicable</td> </tr> </table>	海上規制情報	IMOの規定に従う。	UN No.	3077	Proper Shipping Class	環境有害物質(固体) 9	Packing Group	III	Marine Pollutant	applicable	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable										
海上規制情報	IMOの規定に従う。																						
UN No.	3077																						
Proper Shipping Class	環境有害物質(固体) 9																						
Packing Group	III																						
Marine Pollutant	applicable																						
Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable																						
<p>国内規制</p>	<table border="0"> <tr> <td>航空規制情報</td> <td>ICAO/IATAの規定に従う。</td> </tr> <tr> <td>UN No.</td> <td>3077</td> </tr> <tr> <td>Proper Shipping Class</td> <td>環境有害物質(固体) 9</td> </tr> <tr> <td>Packing Group</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>陸上規制</td> <td>消防法の規定に従う。</td> </tr> <tr> <td>海上規制情報</td> <td>船舶安全法の規定に従う。</td> </tr> <tr> <td>国連番号</td> <td>3077</td> </tr> <tr> <td>品名</td> <td>環境有害物質(固体)</td> </tr> <tr> <td>クラス</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>容器等級</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>海洋汚染物質</td> <td>該当</td> </tr> </table>	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。	UN No.	3077	Proper Shipping Class	環境有害物質(固体) 9	Packing Group	III	陸上規制	消防法の規定に従う。	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。	国連番号	3077	品名	環境有害物質(固体)	クラス	9	容器等級	III	海洋汚染物質	該当
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。																						
UN No.	3077																						
Proper Shipping Class	環境有害物質(固体) 9																						
Packing Group	III																						
陸上規制	消防法の規定に従う。																						
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。																						
国連番号	3077																						
品名	環境有害物質(固体)																						
クラス	9																						
容器等級	III																						
海洋汚染物質	該当																						

MARPOL 73/78 附 非該当
 属書II 及びIBC コー
 ドによるばら積み輸
 送される液体物質
 航空規制情報 航空法の規定に従う。
 国連番号 3077
 品名 環境有害物質(固体)
 クラス 9
 等級 III
 緊急時応急措置指針番号 171

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条
 第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条
 の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

酸化亜鉛(政令番号:188)(1%-10%)

鉱油(政令番号:168)(60%-70%)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促
 進法(PRTR法)

非該当

消防法

非危険物

水質汚濁防止法

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中
 央環境審議会第9次答申)

海洋汚染防止法

油性混合物(施行規則第2条の2)

有害でない物質(施行令別表第1の2)

有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表
 第1第1号イ(81))

外国為替及び外国貿易法

有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2
 の2号承認」

輸出貿易管理令別表第1の16の項

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)

船舶安全法

有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示
 別表第1)

特定有害廃棄物輸出入規
 制法(バーゼル法)

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30
 年6月18日省令第12号)

水道法

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令10
 1号)

下水道法

水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条
 の4)

労働基準法

がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第3
 5条別表第1の2第7号)

16. その他の情報

参考文献

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報

の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全デー
 タシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム

「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、
取扱いには十分注意して下さい。